

# 海水資源・環境セミナー

URL : <http://www.swsj.org/research/research-06.html>

日本海水学会海水資源・環境研究会では、海水資源・環境セミナーを開催いたします。本セミナーは勉強会と位置づけ、様々な分野で活躍されている技術者、研究者の皆様をご招待し、活発な意見交換を行うことを目的としております。

主 催 : 日本海水学会 海水資源・環境研究会

協 賛 : (一財) 造水促進センター, (一社) 日本粉体工業技術協会晶析分科会, (公社) 日本水環境学会,  
日本イオン交換学会, 日本脱塩協会, 分離技術会, (公社) 化学工学会 (予定), 日本海水学会若手会

日 時 : 2016年9月23日(金) 14:00~17:00

セミナー終了後、技術交流会を開催いたします。(17:15~18:45を予定)

場 所 : 千葉工業大学津田沼キャンパス 7号館4F 7402講義室

〒275-0016 千葉県習志野市津田沼2-17-1

JR総武線/津田沼駅(南口)下車 徒歩1分

京成線/京成津田沼駅下車 徒歩15分

新京成線/新津田沼駅下車 徒歩3分

<http://www.it-chiba.ac.jp/institute/access/tsudanuma.html>

◇次ページのマップを参照ください◇

講 演 :

○ヨウ素製造法の変遷とヨウ素の高度利用

株式会社 合同資源 海宝 龍夫 氏

ヨウ素は古くは海藻から製造されていましたが、現在では地下かん水やチリ硝石から製造されます。その主要生産地もヨーロッパから環太平洋地域へと移動しました。本講演ではヨウ素の製造法の変遷と多岐にわたるヨウ素の用途さらには注目される新規用途について紹介頂きます。

○臭素の製造方法及び製品用途について

東ソー株式会社 原口 和久 氏

同社はVCM(塩化ビニルモノマー)、水酸化ナトリウム等の生産量が国内最大の総合化学メーカーですが、海水から臭素を生産している世界的にも稀な企業でもあります。臭素は有用な物質として古くから利用されており、今回は、臭素工業の歴史、臭素の製造方法並びに製品用途について紹介頂きます。

○フッ素の製造とその利用

兵庫県立大学 松尾 吉晃 氏

全元素中で最も電気陰性度が大きくサイズの小さなフッ素は、蛍石(CaF<sub>2</sub>)から取り出されるフッ化水素(HF)を原料として様々な化合物中に組み込まれます。フッ素を導入するとテフロンの場合の撥水・撥油性や医薬・農薬品に利用されるミミック効果など特異な性質が発現するので、これらについて紹介頂きます。

参加費 : 3,000円

申込方法 : 氏名, 所属, 連絡先(住所, 電話番号, E-mail)を以下の申込先にE-mail等でご連絡下さい。

申込・問合せ先 : 〒256-0816 神奈川県小田原市酒匂4-13-20

公益財団法人塩事業センター海水総合研究所(担当: 加留部, 鴨志田)

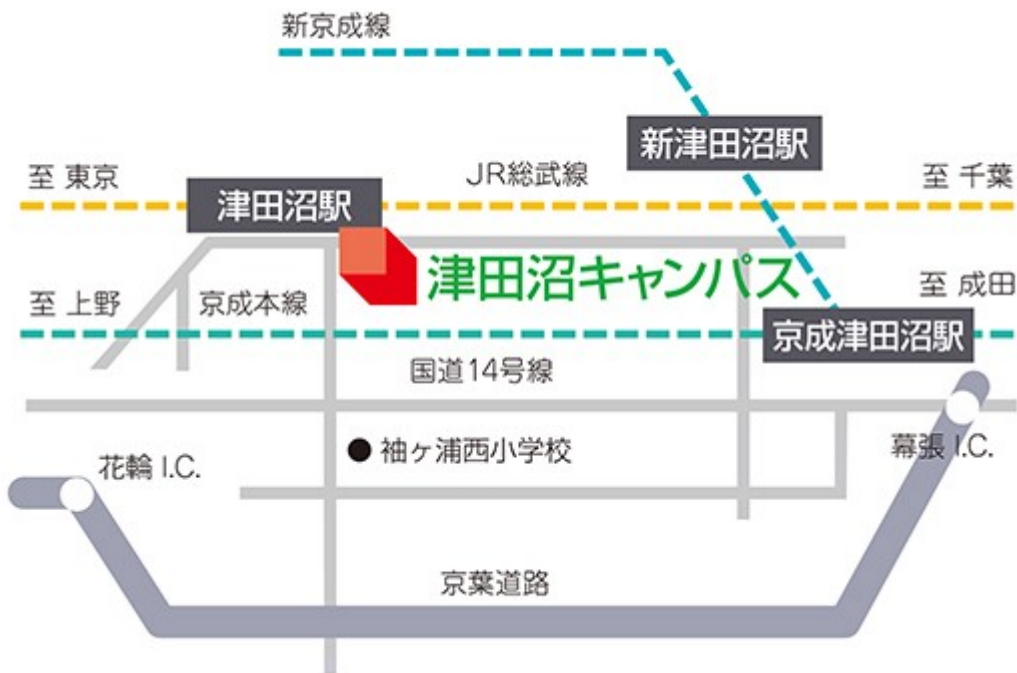
E-mail: [shigen@swsj.org](mailto:shigen@swsj.org)

Tel: 0465-47-3161

申込締切 : 9月16日

当日の問合せ先 : 090-3473-5113(鴨志田)

# 千葉工業大学津田沼キャンパスアクセスマップ



# 千葉工業大学津田沼キャンパス内マップ

